



あらゆる人と共に...



8月号
2025
vol.184

三田市議会だより



一般質問\6月定例会の結果\議会報告会その後\政務活動費



※表紙紹介は裏表紙をご覧ください。

武ちゃんの 第2話

三田ごぼれ話

三田に天皇のお墓があるって？

大河ドラマ「光る君へ」にも登場した65代花山天皇は三田ゆかりの人で、三田市尼寺にある花山院菩提寺に御廟所(お墓)があります。

宮内庁が認めた花山天皇の御廟所は京都の北区にあるので、花山院のご廟所は公式なものと言えないようです。

花山天皇は藤原兼家との政争に敗れ、藤原道兼に騙されて法皇となりました。天皇を務めた期間は僅か2年です。

法皇を慕って京都から11人の女官が花山院にきましたが、女人禁制で入山できず、尼となって麓の地に住むようになり、そのことからこのあたりを尼寺(にんじ)と呼ぶようになったということです。

尼たちは花山法皇を慰めるため、花山院への参道の途中で琴を弾いていたという逸話も残っていますが、彼女たちのお墓も花山院の麓にあります。

1008年、花山法皇は41歳で崩御されました。

元三田文化協会会長
山口武宏

挿絵：岩本芳子さん
(三田市教委「三田の民話100選」より)

9月定例会は9月1日に開会予定です

9/ 1(月)	10:00~	本会議
9/ 2(火)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会
	終了後	経営政策常任委員会
9/ 3(水)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会
	終了後	福祉教育常任委員会
9/ 4(木)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会
	終了後	生活地域常任委員会
9/ 5(金)	13:30~	予算決算常任委員会 討論・表決
9/16(火)	10:00~	本会議 一般質問
9/17(水)	10:00~	本会議 一般質問
9/18(木)	10:00~	本会議 一般質問
9/22(月)	10:00~	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決
9/24(水)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会(令和6年度決算認定)
9/25(木)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会(令和6年度決算認定)
9/26(金)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会(令和6年度決算認定)
9/29(月)	9:20~	予算決算常任委員会 総括質疑(令和6年度決算認定)
9/30(火)	10:00~	予算決算常任委員会 討論・表決(令和6年度決算認定)

*上記予定は、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議は市役所6階議場で、常任委員会は6階委員会室で開催予定です。

請願・陳情提出締切が変更になりました。

市役所開庁時間の変更により請願・陳情提出締切が、17時から16時に変更になりました。

次回9月定例会の審査対象となる請願書・陳情書は、8/28(木)16時が締切です。ご提出される方は、ご注意ください。

議員と意見交換しませんか?

伺います さんだ未来トーク

★詳細はホームページをご覧ください。

表紙紹介 千丈寺湖で水上散歩

豊かな自然に囲まれた広々とした千丈寺湖では、カヌーやカヤックで心地よい風を感じながらのんびりと水上散歩ができます。湖面から見る景色は格別で、大自然と向き合う夏のひとときは特別な思い出になるはずです。

三田市在住のイラストレーター、宮館みえりさんに描いていただきました。



三田市議会だより **ごぼれ** 2025.8 vol.184

〒669-1595 三田市三輪2-1-1
TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992

✉ gikai_u@city.sanda.lg.jp

市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gikai/index.html

広報委員会
[委員長] 肥後淳三 [副委員長] 水元サユミ
[委員] 坪之内幸司 福本愛 福田佳則 小山裕久

編集後記

暑さの厳しい日々が続いておりますが、皆さまお元気でお過ごしでしょうか。今後も開かれた議会を目指し、議会をより身近に感じていただけるよう、親しみやすく分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。(福本)

☆☆ SNSで議会情報を発信中! ☆☆

You Tube

本会議の録画映像を公開しています。

Facebook

市議会の日程やお知らせなどを投稿しています。

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

6月定例会では、17人の議員が一般質問（個人質問）をしました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人40分です。



三田市議会会議録

検索



三田市議会ユーチューブチャンネル

検索



※本会議の録画映像を公開しています。

今北 義明 議員

創志会



まちの再生

(株)サンフラワーの株式取得に関する諸課題は

議員 発行株式75.2%の確保は、どのような経緯で、誰が判断したのか。筆頭株主となるが、代表者の人事と運営責任の対応は。また、当初借入金残高約7億円の返済計画について、県と連帯保証人の整理を行ったのか。

市のリスクについて慎重に対応していく

市 社会的責任は増大するが、大きなリスクはなく、フラワータウンのまちづくりにはメリットの方が大きいため株式の追加取得を行った。(株)サンフラワーが返済計画を作成予定であり、市は株主総会で取締役の選任を提案する。また、連帯保証人については解決していない。今後は、議会に経営状況等を報告する。(田村市長)

他の質問 文化財保護に関する諸課題について

水元 サユミ 議員

日本共産党三田市議団



国保

国民健康保険加入者全員に資格確認書の送付を

議員 国は75歳以上の後期高齢者全員に、マイナ保険証保有の有無にかかわらず一律に資格確認書を交付するとしている。市民や窓口の混乱を避けるためにも、国民健康保険の加入者全員に資格確認書を送付すべきでは。

国からの通知を踏まえ、周知していく

市 国の通知では、資格確認書は被保険者が電子資格確認を受けることができない状況にあるときに交付するとしていることを踏まえ、マイナ保険証のない市民には資格確認書を、マイナ保険証のある市民には資格情報のお知らせを送付する予定である。今後、マイナ保険証の利便性も含め、混乱のないよう周知していく。(西田副市長)

他の質問 介護保険制度について 他1件

假屋 浩司 議員

創志会



環境

特定外来生物のナガエツルノゲイトウ対策を

議員 市内への侵入及び拡散を防ぐため、農業用水の閉塞や観光資源、自然景観への深刻な影響など最悪の事態も想定し、初動対応として県・地域・住民と連携した早期調査・駆除体制の構築が必要と考えるが、市の見解を伺う。

住民への啓発活動や対応方針の整備を行う

市 市内への侵入及び拡散防止には、早期発見・早期対応が重要であり、現在は主に農業者へ注意喚起を実施しているが、今後は住民向けに啓発物の作成や広報、学習会の開催を行い、周知啓発に努める。また、特定外来生物（植物）対応方針について体系的に整えていく。

(横溝市民生活部長)

他の質問 部活動地域展開について 他1件

橋本 維文 議員

市民とともに



保育

保育士確保に向けた取組の推進を

議員 慢性的な保育士不足は、多くの保育施設が抱える深刻な課題である。厚生労働省の助成金の活用で保育士資格取得を促進し、非正規雇用労働者のキャリア開発支援を行うことが保育士確保につながるのでは。他市に先んじての行動が効果的と考えるが、市の見解を伺う。

資格取得者の増加・雇用は保育士確保に寄与する

市 資格取得支援制度として、各助成金の活用は、各施設の保育支援者が実務経験を経て保育士資格を取得するなど、資格取得者の増加に有効で保育士確保に寄与するものであるため、事業主に情報提供・啓発していく。

(松本子ども・未来部長)

他の質問 地域活動の支援拡充について 他3件

山崎 丈 議員

市民とともに



教育環境

小中学校の学校再編及びエアコン設置の予定は

議員 再編対象の3地域について、小中学校体育館のエアコン設置の国の補助期限である令和15年度までの予定を示してほしい。

子どもたちの教育環境を第一の視点に検討

市 フラワータウン地区は、富士・弥生小学校の協議を中断しているが、将来を見直し検討していく。藍・長坂中学校区は課題等を共有する中で幅広く方策を検討する。上野台中学校区の4小学校と松が丘小学校は同じ中学校を進学先として、適切な時期に検討する。学校再編は子どもたちの教育環境を第一の視点に道筋をつける必要があり期限を定められるものではないが、空調の設置時期等は学校再編を含め検討する。(加嶋教育長)

他の質問 部活動の地域展開について 他2件

村手 秀樹 議員

公明党



公共交通

交通と福祉が連携した地域公共交通計画を

議員 高齢者の外出支援だけでなく、障害者の方や妊産婦の方なども含む福祉の視点を取り入れた交通政策が必要である。誰もが利用しやすく、どこに住んでいても利用できる今後の地域公共交通計画について、市の見解を伺う。

市民の誰もが移動できるまちを目指す

市 高齢者や障害者はもとより、市民誰もが気軽に移動できるまちを目指し、人の流れや量に応じて、行政・交通事業者・地域が適切な役割分担のもと、公民共創による持続可能な交通ネットワークの形成を推進し、移動需要に応える地域公共交通の構築に取り組む。

(高寺都市整備部長)

他の質問 重度障害者医療費助成制度について 他2件



中田 哲 議員
さんの未来



市民センター フラワータウン市民センター移設の必要性は

議員 フラワータウン市民センターの移設計画は、建設費や賃借料等が示されておらず、財政負担増の懸念からも現施設の活用が最善策では。また、現施設とホールの存続を求める声もあり、市民理解が得られないまま移設を推進すべきでないとするが、市の見解を伺う。

丁寧な説明と意見聴取に努めていく

市 フラワータウンの現状と将来像を比較検討した結果の選択である。また、ホールは、建設費の負担及び維持管理費の増加が見込まれ存続が難しいと判断しているが、利用者への説明が十分でなかったため、今後は丁寧な説明と意見聴取に努める。(横溝市民生活部長)

他の質問 イノベーションエコシステムの構築について 他1件

坪之内 幸司 議員
創志会



環境 特定外来生物のクビアカツヤカミキリ対策を

議員 令和6年のクビアカツヤカミキリによる被害を受け、現在の対策状況と今後の方針は。また、専門家や市民との連携体制をどのように強化していくのか。

県・市民・専門家等と連携し、対策していく

市 武庫川桜づつみ回廊を中心に被害調査を予定している。県や近隣自治体との定期的な情報共有により状況把握に努めており、発見時には県や樹木医と連携し、防除ネットや伐採等の緊急対策を行う。また、自治会への回覧や農家等への注意喚起及び情報提供を行い、三田さくら物語で取り組んでいるSDGsの考えに基づき、対策を講じる。

(横溝市民生活部長)

他の質問 フリースクール等利用支援事業について 他2件

大西 雅子 議員
公明党



学校教育 生成AIを活用した対話アプリの今後は

議員 令和6年度に、誰にも言えない辛い悩みを気軽に吐くことができる対話アプリ「MIRAIノート」の実証実験を実施した。全国初の取組であり、将来的に不登校の兆候の早期発見や早期支援に役立てるため、精度を高める継続した運用が必要であるが、予算化への考えは。

成果と課題を見極め、慎重に判断する

市 引き続き、相談機能の効果を検証し、方向性を検討していく。開発運用は、成果と課題を見極めながら、他の自治体との協働や民間事業者のさらなる活用など、産官学の取組の充実も十分に考慮し、慎重に判断する。(田村市長)

他の質問 三田市在住外国人の支援の充実について 他1件

説明 *MIRAIノート：三田市と大阪教育大学が共同開発した生成人工知能(AI)を活用した対話アプリ

長谷川 良果 議員
日本維新の会 三田



学校教育 中学校制服等の市内共通化を

議員 制服等の購入は保護者の経済的負担が大きく、転校時の再購入も課題である。経済的負担やリサイクルのしやすさ、愛郷心の醸成の観点から、中学校制服等の市内共通化について、市の見解を伺う。

他市の事例も参考に慎重に研究していく

市 保護者の経済的な負担を考慮し、制服のシャツ等は指定せず、学校によっては制服素材の見直しやリサイクルの活性も行っている。共通化は困難ではあるが、多様な生徒に対応でき、機能的で経済負担の少ない制服等の選択は重要であり、保護者や生徒の関心も高いため、他市の事例も参考に慎重に研究していく。(山本学校教育部長)

他の質問 観光戦略の再構築について 他1件

長尾 明憲 議員
日本共産党三田市議団



市民センター フラワータウン市民センターのホールは残すべき

議員 現市民センターを残すより複合化した方が財政負担が軽くなるというが、その根拠が不明であり説明不足である。ホールも残せない上、民間が関係し情報を出せないならば、市民の願いと異なる商業施設への市民センター複合化はやめるべきでは。

新施設へ移転した場合、財政負担は軽減される

市 現市民センターでの改修費8億800万円及び30年の運営費用と、現在算出している新施設での初期コスト及び運営費用を比較すると、トータル的に財政負担は軽減されると考えており、9月定例会に補正予算として上程する際に説明する。(田村市長)

他の質問 野外活動センターについて 他1件

小山 裕久 議員
さんの未来



農業支援 市の実状に応じた農業支援を

議員 農村地域の共同活動を支援する多面的機能支払交付金制度の開始から金額の見直しがされていないなど、国・県の補助事業は、小規模農家が多い三田市の実態には合わない。近年、農業に係る資材も高騰しており、市の実状に応じた農業支援が必要では。

実状を踏まえ、変容するニーズに対応していく

市 市の実状を踏まえ、小規模農業者を対象とした農業用機械やスマート機器の導入補助、有害鳥獣対策としての防護柵等の設置に対する補助など、市独自の支援策について地域の意見も伺いながら拡充を図ってきたが、今後変容するニーズに対応していく必要があると考えている。(田村市長)

他の質問 学校給食について

木村 雅人 議員
日本共産党三田市議団



市民病院 市民病院再編統合の賛否を問うべき

議員 市民病院の再編統合問題は深刻な財政危機問題へと悪化した。8月に公表予定の三田市未来への財政ロードマップ(案)について実施するパブリックコメント及び市民意見交換会では、財政危機の最大の要因である市民病院の再編統合についての賛否も問う必要があるのでは。

新病院整備の推進が前提であり、賛否は聞かない

市 再編統合をしなければ、急性期医療の確保・維持は不可能である。よって、新病院整備の推進を前提とした財政ロードマップを策定するために予定しているパブリックコメント及び市民意見交換会において、再編統合の賛否を聞くことは考えていない。(田村市長)

佐貫 尚子 議員
さんの未来



教育支援 教育支援計画等の情報共有の体制整備を

議員 支援を必要とする児童生徒の教育支援計画及びサポートファイルはどのように活用しているのか。また、児童生徒に関わる教員・指導員・支援員が同じ方向を向き、一貫した支援を行うための情報共有の体制整備が必要では。

状況に応じた情報共有をより円滑に進める

市 教育支援計画等は多面的な支援ができるよう活用しているが、作成方法や活用方法等を改めて周知し、社会的自立に向けた指導支援に活用できるよう取り組む。また、一貫した支援は大切であり、今後も各学校において児童生徒と保護者の状況に応じた情報共有ができるよう進めていく。(加嶋教育長)

他の質問 現三田市民病院を取り巻く課題について 他1件

関口 正人 議員
さんの未来



大西 憲司 議員
市民とともに



少子化対策 子ども施策の再体系化における少子化への対応は

議員 少子化対応は、令和7年度予算でも三田市こども計画でも不十分と考える。最新の0歳から4歳までの子どもの数はどのように推移しているか。また、それに対する課題認識と子ども施策の再体系化の中で、どのように少子化対策に取り組むのか。

少子化施策の展開を戦略的に図っていく

市 0歳から4歳までの子どもの数は令和7年5月末で2,902人であり、第5次三田市総合計画の推計からかなり乖離している。少子化対策の具体的な取組は、令和7年度予算化した6つの無料化事業などと合わせ、令和8年度以降の予算等に順次反映させ、戦略的に施策の展開を図っていききたい。(田村市長)

他の質問 新病院基本計画について 他2件

資源ごみ 資源ごみの違法回収業者への対応を

議員 資源ごみの違法回収が頻発する中、回収時間が子どもの登校時間と重なっており、違法回収業者の車が子どもの横を高速で通り抜け危険との声がある。子どもの安全を守るためにも、資源ごみ持ち去り禁止条例を制定しては。

早急に条例制定の方向性で進めていきたい

市 定期的なパトロールの継続実施や、令和6年度に開始した持ち去り禁止の注意看板により抑止に努めている。今後は、早急に注意看板の効果検証を行いながら、条例制定も視野に取り組んでいく。また、市民への周知啓発を行い、地域と共に違法業者への取組を展開し、抑止力を高めていく。(横溝市民生活部長)

他の質問 地域防災について 他2件

小杉 崇浩 議員
創志会



福祉 多様な主体が参画する地域共生社会の実現を

議員 介護予防・日常生活支援総合事業の要綱が改正され、地域住民等の主体的な活動への補助要件が緩和されたが、市においても高齢者サロン等の住民主体の活動に補助対象を拡充しては。

活動財源の実態を把握し、対応を検討する

市 地域住民の参画は地域共生社会の構築につながることから、補助の実施にあたっては、医学的な効果や介護保険財源を活用するといった点も考慮し、効果的な事業実施について他市事例等を参考に研究する。また、高齢者サロン等については、活動財源の実態を把握し、対応を検討する。(外岡健康福祉部長)

他の質問 シビックプライドの醸成による地域活性化について

令和7年 6月定例会の結果
6月2日～6月25日 (会期：24日間)

市長提出議案 18件
(うち1件は撤回許可)
議員提出議案 2件
請願 6件
陳情 1件



全議員が賛成した議案

予算 一般会計補正予算(第1号) など予算案件4件

条例 市税条例の一部改正 など条例案件7件

その他 損害賠償の額の決定 など事件決議4件
人権擁護委員候補者の推薦 人事案件1件
市議会の傍聴規則の一部改正 など議員提出議案2件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

賛否が分かれた議案・請願 (福田秀章議員は、議長のため表決に加わりません)

賛成：○ 反対：×

件名	議員名														結果								
	創志会				さんの未来				市民とともに		公明党		日本共産党三田市議団			日本維新の会三田							
	幸田安司	今北義明	小杉崇浩	坪之内幸司	假屋浩司	佐貫尚子	中田哲	関口正人	小山裕久	肥後淳三	橋本維文	山崎丈	大西憲司	大西雅子	福田佳則	村手秀樹	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	福本愛	長谷川良果		
予算 令和7年度市民病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決
事件決議 市民病院の管理に係る指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決
請願 新病院基本計画の撤回を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択	
市役所の開庁時間の短縮を元の時間にすることを求める請願 (閉会中の継続審査とすることについて)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成17人 反対4人 継続審査	
661億円の新病院整備費等で高齢者運賃助成制度の改悪にならないよう求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択	
661億円規模での新病院整備費等でごみ袋代大幅引き上げにならないことを求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択	
2026年4月からの市民センター利用料1.5倍値上げの中止を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択	
フラワータウン市民センターを現在地で残し充実を求める請願 (閉会中の継続審査とすることについて)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 継続審査	

賛否が分かれた議案・請願



議案第53号 市民病院事業会計補正予算（第1号）
議案第58号 市民病院の管理に係る指定管理者の指定について

内容 第53号は新病院基本計画において新病院の開院時期を令和10年度中から令和12年度中に見直したことにより追加で2年間分の指定管理に係る債務負担行為を設定するもの、第58号も同様の理由により2年間を指定期間として追加するもの

可決
賛成18名
反対3名

反対討論

再編統合そのものに反対であり、住民参加や議会のチェックが薄れること、今以上の採算性重視、病院職員の分限免職、病院運営のノウハウ喪失などの問題があることから指定管理者の指定もすべきでない。さらに、現済生会兵庫県病院の整備費残債の経営への影響も懸念されるため、反対。（日本共産党三田市議団 木村雅人）

賛成討論

急性期医療を堅持し、さらに充実させるための再編統合に伴い、両病院の診療機能の維持及び新病院開設時の円滑な運営準備を進めるための指定管理者制度であり、開院時期の延期による指定管理に係る債務負担行為予算及び指定期間の追加は、新病院へのスムーズな移行を切れ目なく進める上で必要であるため、賛成。（創志会 假屋浩司）



請願第11号 市役所の開庁時間の短縮を元の時間にすることを求める請願
請願第15号 フラワータウン市民センターを現在地で残し充実を求める請願

内容 (請願者) 第11号：段林正樹氏 第15号：小宮純子氏、足立辰雄氏
(趣旨) 第11号は市役所の開庁時間を従来の9時から17時30分までに戻すことを求めるもの、第15号はフラワータウン市民センターを現在地に残しホールを充実させることを求めるもの

継続審査
(請願第11号) | (請願第15号)
賛成17名 賛成18名
反対4名 反対3名

委員会中間報告より(審査状況の報告)

請願第11号について、自由討議では、市民の声を受け止めた上で検証期間が必要との意見や、告知から4カ月後の実施はあまりに拙速で、デジタル化の普及など先に市民サービスに影響が出ないようにすべきとの意見があった。また、市民にメリットを示した上での見直しでも遅くはなく、説明が丁寧ではない。不具合があれば速やかに対応を求め、今後も議論を続けたいとの意見があった。

自由討議終了後、開庁時間を従来の時間に戻すという請願趣旨については、実施後の期間が短く、議会として、今後の動向を慎重に検証した上で判断すべきであることから、継続審査としたい旨の動議が出された。

採決の結果、賛成多数をもって継続審査とすべきものと決した。（経営政策常任委員長 小杉崇浩）

請願第15号について、自由討議終了後、新複合施設の詳細は9月頃に発表される予定であり、議会として、現状での判断は難しく、請願者の要望は十分に理解するが市民センターを残す判断をするには時期尚早であり、今後、十分な情報が出てからの判断が望ましいことから、継続審査としたい旨の動議が出された。

採決の結果、賛成多数をもって継続審査とすべきものと決した。（生活地域常任委員長 幸田安司）

反対討論(継続審査に反対)

請願第11号について、開庁時間の短縮により課題解決等に時間を割くことによる市民サービスのさらなる向上を目的とした上で、選ばれる市役所、働きやすい市役所を目指すとしている。行かない市役所の拡充による時間の有効活用や超過勤務の縮減による財源創出、雇用安定による人材確保により市民サービスの向上を図ることで市民の信頼につながる。また、早々に元の時間に戻すことで新たな混乱を招きかねず、6月定例会において不採択とすべきと考えるため、継続審査に反対。（市民とともに 橋本維文）

請願第11号について、公表から実施まで約4カ月とあまりに短く、十分な周知期間を設け、市民サービスに影響のないよう実施すべきであった。また、デジタル化の取組も不十分であり、市民をフォローする仕組みを構築し、実績を積んだ上で行うべきであった。マイナ保険証の更新等による窓口混雑も予想され、早急に元に戻すべきであるため、継続審査に反対。

請願第15号について、詳細を何も明らかにせず一方的に公表し、9月定例会で補正予算案の上程を予定するなど、市民と議会を置き去りにしたあまりに拙速な進め方である。詳細が説明される時期にはすべてが決定していることになりかねないため、継続審査に反対。

(日本共産党三田市議団 水元サユミ)

その他、以下の請願4件についても賛否が分かれ、討論を行いました。

- 請願第10号 新病院基本計画の撤回を求める請願
- 請願第12号 661億円の病院整備費等で高齢者運賃助成制度の改悪にならないよう求める請願
- 請願第13号 661億円規模での新病院整備費等でごみ袋代大幅引き上げにならないことを求める請願
- 請願第14号 2026年4月からの市民センター利用料1.5倍値上げの中止を求める請願

PICK UP!
6月議会

条例改正案の撤回、再度議案を提出

本会議第1日（6月2日）に提案された議案第55号「三田市立学校施設目的外使用条例の一部を改正する条例について」が、第2日（6月17日）に市長より議案撤回の申し出があり、全会一致で許可しました。その後、委員会審査を行った福祉教育常任委員会での意見を考慮し、再度議案が提出され、全会一致で可決されました。

撤回理由

中学校部活動の地域展開及び学校施設の使用許可における禁止事項の変更等に伴い、条例の一部を改正しようとする議案であるが、許可の禁止事項に「飲酒又は酒類の提供を行うもの」を追記しようとするについて、福祉教育常任委員会（6月4日）における意見を斟酌し、内容を再度検討することが適当であるとの判断により、議案の撤回を申し出る。

議案を審査した福祉教育常任委員会で下記の意見が出ました

どんな意見が
委員会で
出たの？



- 自治会等が納得するよう十分な説明を尽くしたのか。条例施行日が7月1日とあるが、すでに夏まつり等の準備が始まっている中、周知が不十分だったのであれば条例改正は時期尚早であり、従来各学校長と地域の判断に委ねてきたものを一律に禁止することの妥当性にも疑義がある
- 学校は教育の場であるが、学校施設は安全面から夏まつり等地域交流の会場に適している
- 地域のまつりという交流の場において、アルコールを許容して円滑なコミュニケーションをとりたいとの声もあり、地域交流という社会教育の見地からも考慮すべき など

説明

*撤回：議案等を取り下げること。一度議事に上程された議案等は、議会の許可を得なければ撤回できない。

議会の傍聴にぜひお越しく下さい

三田市議会では、開かれた議会を目指し、多くの方に会議を傍聴していただけるよう6月定例会において傍聴規則を改正いたしました。

主な改正点

New!

児童及び乳幼児を連れて傍聴が可能に！



これまでは、議長の許可が必要でしたが、改正により児童・乳幼児を連れて傍聴できるようになりました。もし泣かれてしまった場合には、議場外に議会中継をご覧いただけるモニターを用意しておりますので、ご利用ください。

その他、帽子着用のまま入場いただけるよう入場規定の一部改正を行いました。

傍聴される際は、改めて下記の事項にご注意ください

- 携帯電話、スマートフォンは電源を切るか、マナーモードをお願いします
- 傍聴席では、発言や拍手はできません
- 撮影・録音・録画等はできません

*傍聴される際には必ず議会事務局で受付願います。



議会報告会のその後

ご報告

令和7年4月に開催しました議会報告会では、参加いただいた市民の皆様から、さまざまなご意見をいただきました(つなぐ6月号で紹介)。議会において、それらのご意見について、市の現状の調査をはじめ、検討等を行い、下記の1件を市長に要望しました。その他のご意見は、常任委員会等で検討するなど参考意見として活用させていただきます。



子ども食堂等の支援のあり方を見直してほしい

参加者の声 子ども食堂の目的が不明瞭となっていないか。本来子ども食堂が必要ない社会が理想ではないか。支援のあり方を見直すべきでは。

議員の意見 今回の子ども・地域食堂支援事業補助金がきっかけで今まで受け取れた支援が打ち切られて、かえって苦労しているとの話を複数の運営主体から聞いている。

議会から市に現状を聞きました 子ども食堂は元々困窮世帯を支えることが想定されていたが、市民の方々主体の自発的ボランティアで運営され、その活動目的は多岐にわたる。困窮世帯の支援もあれば、地域の多世代がつながる場所づくりを目的とするところもあり、行政側で個々の活動の趣旨につき限定すべきでないとする。子ども食堂の必要がない環境づくりの点では、困窮家庭の経済状態が子どもの学びや成長に影響しないようさまざまな支援を行うのは行政の役割だが、地域社会のつながりを形成する等、より幅広い目的による子ども食堂・地域食堂等の地域活動と行政の併存が好ましい。今年度の子ども・地域食堂支援事業補助金は、市長とのタウンミーティングでお聞きした運営の現状から子ども食堂・地域食堂の活動継続を支援する趣旨だったが、補助制度を導入することにより今まで受けていた支援が打ち切られる等、むしろ運営が苦しくなる状況は当初想定しておらず望んでいない状況であり、早急な整理をしていきたい。

議会の要望 子ども政策の新規事業「子ども・地域食堂支援事業」の執行にあたり、子どもや家庭を支える環境づくりに支障が出ないよう、地域との意見交換のうえ制度設計の見直しを図ることを要望しました。

市からの回答

各地域の食堂運営団体の実態を踏まえ、当初想定していた一律上限5万円とする制度設計から、開催回数や参加人数に応じた上限額を最大12万円と設定することで、これまで「ふるさと地域交付金」を活用されていた団体も、子ども・地域食堂支援事業補助金が選択できるよう、地域・団体の実情に応じ、より柔軟に対応できる仕組みに見直している。今後も団体の声を聴きながら、実効性のある制度となるよう努めていく。

●議会報告会でいただいた意見と検討結果については、ホームページで公開しています。



令和6年度

政務活動費

政務活動費とは、地方自治法に基づいて、市議会議員が政策の調査や研究のために必要な経費として使うことができるものです。

研修会等への参加費や、議員活動・市政の報告等を行うための広報印刷費、研究資料の作成費など多岐にわたって活用されています。

詳細はこちら



Point!



- 「三田市議会政務活動費の交付に関する条例第2条」に基づき、会派支給または、個人支給のどちらかを議員が選択します。
- 1人当たりの年間交付額は、条例に基づき72万円としています。(支出額が交付額を超える場合は、議員が負担しています。)

交付対象者 会派または 個人	創志会 6人 ※4月~10月は5人 (盟政会)	公明党 3人	日本共産党 三田市議団 3人	佐貫 尚子	中田 哲	関口 正人	肥後 淳三	福本 愛	小山 裕久 11月~3月	
交付額	3,900,000円	2,160,000円	2,160,000円	720,000円	720,000円	720,000円	720,000円	720,000円	300,000円	
支出額	3,041,828円	844,443円	1,771,936円	194,850円	516,309円	376,053円	480,326円	434,309円	230,943円	
返納額	858,172円	1,315,557円	388,064円	525,150円	203,691円	343,947円	239,674円	285,691円	69,057円	
費目別支出額	研究研修費	627,900円	3,000円	0円	0円	0円	3,440円	119,949円	351,380円	150,460円
	調査旅費	932,366円	0円	150,945円	0円	0円	0円	126,982円	0円	0円
	資料作成費	422,150円	34,598円	0円	12,275円	46,064円	7,730円	81,396円	12,691円	14,520円
	資料購入費	344,783円	251,915円	170,911円	84,723円	118,040円	48,470円	19,755円	4,400円	8,957円
	要請・陳情活動費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	広報広聴費	63,250円	0円	763,404円	0円	233,030円	243,000円	0円	0円	0円
	備品費	53,819円	100,506円	0円	8,833円	8,833円	8,000円	0円	0円	8,000円
	通信運搬費	597,560円	404,604円	359,299円	84,894円	106,217円	63,768円	54,103円	65,838円	47,361円
事務所費	0円	49,820円	327,377円	4,125円	4,125円	1,645円	78,141円	0円	1,645円	

交付対象者 会派または 個人	山崎 丈 11月~3月	橋本 維文 11月~3月	大西 憲司 11月~3月	長谷川 良果 11月~3月	厚地 弘行 4月~10月	檜田 充 4月~10月	美藤 和広 4月~10月	北本 節代 4月~10月	井上 昭吾 4月~10月	林 政徳 4月~10月	
交付額	300,000円	300,000円	300,000円	300,000円	420,000円	420,000円	420,000円	420,000円	420,000円	420,000円	
支出額	369,186円	205,736円	249,479円	72,997円	125,699円	302,530円	302,968円	130,161円	96,623円	443,980円	
返納額	0円	94,264円	50,521円	227,003円	294,301円	117,470円	117,032円	289,839円	323,377円	0円	
費目別支出額	研究研修費	88,905円	45,672円	86,180円	40,360円	0円	79,950円	125,790円	0円	66,240円	412,960円
	調査旅費	71,418円	71,418円	71,418円	0円	0円	54,124円	46,424円	0円	0円	0円
	資料作成費	6,600円	0円	5,567円	5,723円	24,069円	41,813円	19,880円	0円	11,749円	0円
	資料購入費	9,900円	0円	0円	0円	33,907円	22,062円	10,182円	64,099円	7,414円	19,800円
	要請・陳情活動費	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
	広報広聴費	129,100円	0円	0円	0円	31,885円	0円	0円	0円	0円	0円
	備品費	0円	0円	0円	0円	833円	0円	0円	833円	0円	0円
	通信運搬費	36,798円	62,182円	59,411円	26,914円	35,005円	59,271円	55,386円	65,229円	11,220円	11,220円
事務所費	26,465円	26,464円	26,903円	0円	0円	45,310円	45,306円	0円	0円	0円	

※会派別に取りまとめた令和2年度から令和6年度の政務活動費の資料(精算書、報告書等)は、議会事務局で保管しておりますので、閲覧を希望される方は、お問い合わせください。